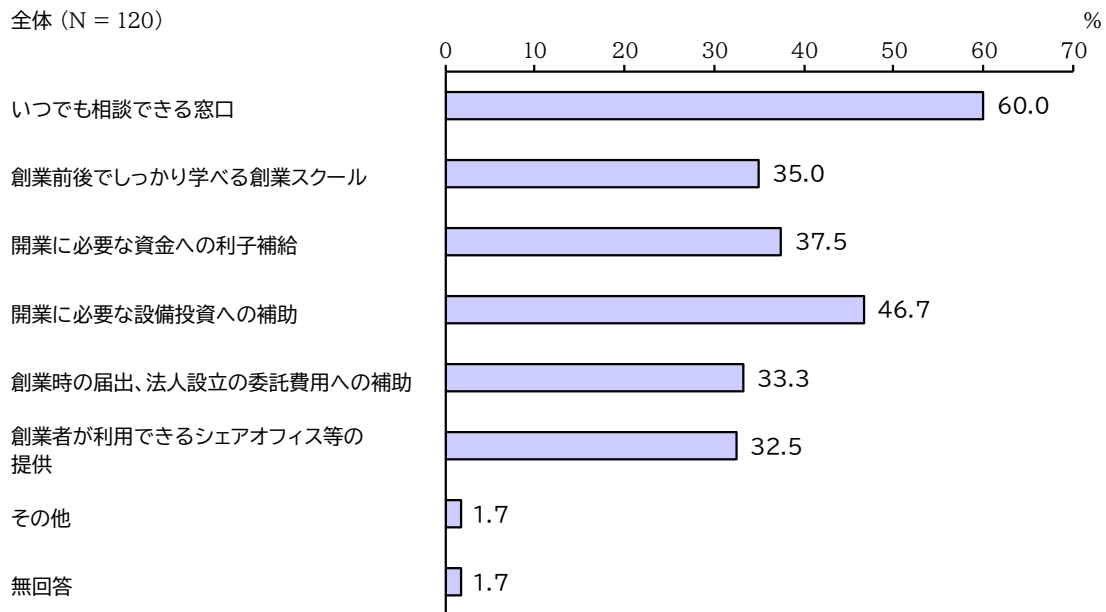


問 14 で「1. 創業する予定で、事業内容も決めている。既に事業を営んでいる（営んでいた）」「2. 内容は未定だが、いつかは創業して自分で事業を営んでみたい」と答えた方にお聞きします。

問 14-1 あったら良い（良かった）と考える支援策はありますか。  
（あてはまるもの全てに○）



【性・年齢別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	いつでも相談できる窓口	創業前後でしっかりと学べる創業スクール	開業に必要な資金への利子補給	開業に必要な設備投資への補助	創業時の届出、法人設立の委託費用への補助	創業者が利用できるシェアオフィス等の提供	その他	無回答
男性 18・19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	8	50.0	37.5	62.5	62.5	62.5	37.5	12.5	-
30～39歳	11	63.6	63.6	54.5	72.7	45.5	54.5	-	-
40～49歳	14	42.9	35.7	50.0	50.0	42.9	50.0	-	-
50～59歳	13	76.9	30.8	30.8	38.5	23.1	30.8	-	-
60～64歳	7	42.9	42.9	42.9	57.1	28.6	42.9	-	-
65歳以上	12	58.3	8.3	16.7	25.0	33.3	16.7	-	8.3
女性 18・19歳	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
20～29歳	7	28.6	14.3	71.4	57.1	57.1	28.6	-	-
30～39歳	15	60.0	40.0	40.0	46.7	33.3	46.7	-	-
40～49歳	13	61.5	46.2	30.8	46.2	38.5	30.8	-	-
50～59歳	7	71.4	-	14.3	42.9	-	14.3	14.3	-
60～64歳	4	100.0	50.0	50.0	75.0	25.0	-	-	-
65歳以上	4	75.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0

●あつたら良い(良かった)と考える支援策で「いつでも相談できる窓口」と答えた方が6割

創業にあたっては、「いつでも相談できる窓口」の割合が60.0%と最も高くなっています。

性・年齢別でみると、男性20～29歳から40～49歳および60～64歳、女性20～29歳では、開業に向けての“資金補給・補助”の割合が高くなっています。一方、女性は20～29歳以外の全ての年代で、「いつでも相談できる窓口」の割合が高くなっています。

創業に関する意識、支援策について調査した結果、創業する予定の方や可能性がある方は、全体の12.9%に止まることが分かりました。また、創業したい方の支援策のニーズも確認ができましたので、今後の創業支援に活用していきます。